

第3回 生活部会 報告書

令7年9月12日

開催日時	令和7年9月12日(金)14:00~	場所	千曲市ふれあい福祉センター 会議室5
部会員	稲荷山太陽の園/ともいきライフ月影/いなりやま福祉会はなたば/いなりやま福祉会グループホーム/いなりやま福祉会相談支援事業所/風ととくべえ/地域生活支援センターCoCoちくま/スタジオCoCo/けいあいエール/坂城町社会福祉協議会/千曲市福祉課/坂城町福祉健康課/実習生/事務局		
			出席 23名

(1) 報告事項 ほか

◆基幹相談支援センターより

12月13日(土)全体会に向けて、各事業所にアンケートを実施している。
体験コーナー等も企画しているので、積極的に参加してほしい。

◆行政より

昨年度までは、県の自立支援協議会に千曲市の課長が出席していたが、今年度から委員を外れたため、県の動向はHP等を通じて把握してほしい。

(2) 協議事項 および 内容

◆研修会「個別支援計画に基づく支援の統一について②」(講師:奥山隆生氏)

利用者支援における組織(チーム)の大切さと、良い組織をつくるためのポイントについてグループワークを交えて講義があった。

組織に「攻撃性」「無気力」「批判的」な人物がいると生産性が落ちるため、これらの特性をいかに無効化して「理念共感」「自己責任」「相互支援」の組織をつくっていくかがポイントである。

人は場面に応じて「自ら率先して取り組む者」「他人をサポートする者」「何もやる気がない者」の3種類のいずれにもなり得るため、まずはすべての参加者が共感できる目標設定が大切である。

参加者個人にはマインドとスキルの両方が求められ、両方を兼ね備える「人財」になる必要がある。

そして、参加者が組織としてまとまるためには、何よりも相互の信頼関係が大切であること、PDCAサイクルを回すなかで振り返りやコミュニケーションを通じて合意形成を図っていくこと、「自分がやるという意識」と「誰かと一緒にやるという意識」の両方を持つことが大切であるとの内容だった。

◆グループワーク

グループワークでは、実際に4回のパーティーリングをつくる作業を通じて、講義のポイントを確認した。

①個人ワーク → パーティーリングの作り方と制限時間内に自分が何個作れるかを確認した。

②グループワーク(1) → グループで制限時間内に何個作れるかを確認した。

③グループワーク(2) → 1回目の改善点をグループで話し合い、再度何個作れるかを確認した。

④グループワーク(3) → 「攻撃性」「無気力」「批判的」等の特性を備えた人がグループに加わることで、実際にどのくらい生産性が落ちるかを確認した。

グループワークは、A~Eまでの5つのグループに分かれて体験し、それぞれの成果を発表した。

結果はまちまちだったが、どのグループも共通の目標に向けて組織で取り組むことの大切さと難しさを実感したようだった。

最後に、実習生から研修に参加した感想を発表してもらったところ、内容は好評で日々の学生生活にも活かしたいという前向きな感想が聞かれた。

参加者にとって楽しく学びの多い研修であった。

(3) 結果

予定した内容はすべて完了した。

地域連絡会で検討したい課題 [特になし]

(4) その他 (お知らせ・次回開催日など)

第4回生活部会は、12月5日(金)から12月18日(木)13:30~に変更しました。